

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21192
事業名	その他体育施設運営管理費					
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 施設課				
	課長名	井上 昭	担当者名	井関 美加	電話番号	011-211-3045
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理					
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input checked="" type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他				
	目的	短期	体育施設の機能確保及び体育施設・学校開放利用者の利便性の向上			
		長期	体育施設の機能確保及び体育施設・学校開放利用者の利便性の向上			
	取組内容	<p>スポーツ部所管の体育施設の機能確保及び体育施設・学校開放利用者の利便性の向上</p> <p>①施設維持に必要な点検整備や修繕のほか、運営上必要な保険への加入及び賃貸借、備品購入等を行う。</p> <p>②インターネット等により、本市スポーツ施設及び学校開放の利用申し込み等を行えるサービス(HARP施設予約サービス)を提供する。</p>				
	実施結果	施設の点検整備・修繕を実施したことにより、利用者の安全確保及び利用者にとって快適な施設を提供することができた。				
事業実施における工夫点	なし					
対象者	施設利用者	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	建築基準法、消防法、電気事業法、鉄道事業法、健康増進法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、札幌市生活環境の確保に関する条例、石綿障害予防規則など					
他都市の状況	②仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、北九州市、福岡市などで公共施設などの利用予約システムが導入されている。 また、HARP施設予約サービスは、旭川市や函館市、恵庭市でも利用されている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	371,038	242,568	162,723	204,739	
うち特定財源	297,362	112,536	122,445	116,100	
人工	5.0	5.0	5.0	5.3	
人件費	36,000	36,000	36,000	38,160	
計(事業費+人件費)	407,038	278,568	198,723	242,899	
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額 162,723千円 (内訳) ・施設修繕等 107,562千円 ・工事費等 2,596千円 ・備品購入費 11,639千円 ・借地・リース料 16,471千円 ・事務費等 24,455千円			
	令和4年度予算	予算額 204,739千円 (内訳) ・施設修繕等 161,946千円 ・備品購入費 12,000千円 ・借地・リース料 17,558千円 ・事務費等 13,235千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	システム利用者新規登録件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5519	6000	4731	6000	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	コミュニティスポーツ振興の拠点として、市民の利用ニーズが高い状況にある中、修繕等を実施することにより、スポーツ活動の場を安全に提供することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	スポーツ部で所管するスポーツ施設は、築年数が20年を超えるものが多く、中には40年を超えるものもある。建築・電気・機械の各設備の老朽化に伴う故障、劣化などに対応した修繕、改修が主体となっており、安全なスポーツ活動の場を提供するための経費として妥当である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各施設を年度当初に調査し、優先順位を定めて修繕を実施することにより、利用者の利便性・安全性を確保している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	施設の修繕及び予防保全の実施により、利用者に不便を強いることなく、安心・安全な施設の提供ができています。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	所管施設における建築・電気・機械の各設備の老朽化が進行しており、修繕・改修費用の増加が予想されることから、施設の長寿命化と予防保全について、計画的かつ継続的な取り組みを実施する必要がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	施設の老朽化に対応した修繕・改修を実施したことにより、利用者である市民に安心・安全な健康づくりの場を提供することができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 施設の老朽化が進行する中、建物の耐久性を維持するため、(都)建築部による保全推進事業と連携した予防保全を実施する。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 (都)建築部が実施する保全推進事業との連携により、効率的な修繕を実施する。		見直し効果額	0 千円